

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 23 日作成)

小委員会名	耐震性能評価・改修小委員会		主 査 名：立道郁生 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森博司
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>近年の地震被害の経験から、避難施設の確保が我が国の課題となっている。避難施設として期待されている小中学校などの体育館、公共ホールに対して、現在耐震診断、耐震改修が進められているが、既往の手法では、必ずしも空間構造の動的挙動など固有の特異性を反映していないことが指摘されている。今後のより合理的な耐震性能評価法、改修法のあり方について調査・研究を行い、空間構造物の特性を十分に反映した総合的耐震性能評価手法の提言を行なう。</p> <p>初年度： ・ 空間構造の耐震性能評価・改修方法の現状と問題点を整理する</p> <p>2 年度： ・ 整理された項目を分担し、より詳細な解説を加えて、冊子とし公開する</p> <p>3 年度： ・ 地震被害の実態と、既往の耐震診断手法で得られた耐震性能の対応について調査・検討する</p> <p>4 年度： ・ 成果を集約し、合理的な耐震性能評価法、改修法のあり方について提言を行う</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	主査 幹事	立道 郁生 (明星大学) 諸岡 繁洋 (東海大学) 石川 浩一郎 (福井大学) 石原 直 (国土技術政策総合研究所) 大崎 純 (京都大学) 加藤 史郎 (豊橋技術科学大学) 竹内 徹 (東京工業大学) 那花 謙二 (バコーポレーション) 古川 忠稔 (名古屋大学) 山下 哲郎 (工学院大学) 山田 聖志 (豊橋技術科学大学) 松岡 祐一 (新日鉄エンジニアリング) 松本 幸大 (米子工業高等専門学校)	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名：空間構造の地震リスク評価 WG 目的：建築物の総合的耐震性能を評価する手法の一つとして、地震リスクアナリシスがある。本 WG では、この手法を用いた、体育館等の地震リスク評価手法を調査・分析する。これにより、空間構造に適用可能な機能維持性能を含んだ手法を提案する。		
2008 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価	
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)	開催日 5/16, 8/1, 11/14, 3/2
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)		

講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 屋内運動場の耐震診断,耐震補強例および最近の体育館設計事例を紹介し情報を共有化出来た</li> <li>2. 初年度として,活動方針・方法の議論を行った</li> <li>3. この結果,空間構造の耐震性能評価・改修方法の現状と問題点を次年度中に整理し,社会に発信することが確認された。</li> </ol> <p>概ね,初年度の目標は達成する見込みである</p>
委員会活動の問題点・課題	特になし